

# InnoTrans 2008

www.innotrans.com



## Final Report イトランス/国際鉄道技術専門見本市

出展者数 およそ20%増  
20億ユーロを超える受注  
トレードビジター数 30%増  
新車両の公開

場所: メッセ・ベルリン国際見本市会場  
(ドイツ連邦共和国)  
会期: 2008年9月23日-26日  
主催: メッセ・ベルリン社  
開催: 2年に1回

次回 InnoTrans2010  
2010年9月21日-24日

## 飛躍的に伸びたイトランス – 世界最大の鉄道業界イベント

2008年9月23日から26日にかけてベルリンで開催されたInnoTrans2008では、ドイツそして欧州だけでなく世界に向けて革新的な鉄道技術が多く紹介され、鉄道車両の引渡しも華々しく行われ、多数の契約が締結されるという成果をあげて成功裡に閉幕しました。4日間にわたるこの鉄道技術見本市には、世界100カ国以上から85,592人（総ビジター数の96.9%）のトレードビジターが来場し、2年前に行われた前回の来場者数を約30%上回りました。さらに展示面積が大幅に増加し、出展者数も20%近くの伸びを記録しました。InnoTransはこれまでの世界の鉄道技術業界における最大の鉄道技術専門見本市としてだけでなく、テクノロジー分野全体における世界の主要見本市の仲間入りを果たしました。

トレード日に引き続き、週末には屋外展示場と線路での展示を見に25,000人のパブリックビジターが来場しました。

トレード日最終日の金曜日には、出展者、トレードビジター双方から、会期中



に非常に素晴らしいビジネス成果を得られたとの報告がありました。アンケート調査の結果によると、出展者の89%がその出展成果に満足し、94.5%が2010年の次回InnoTransにも出展するつもりであると回答しています。InnoTransの特徴は、トレードビジターに占めるディビジョンメーカーの割合の高さで、トレードビジターの約半数が会社経営幹部です。またトレードビジターの95%が、この見本市を同僚やビジネスパートナーに勧めたいと回答しています。そして同数の人々が、次回のInnoTransへ来場するつもりであるとコメントしています。

### 統計データ (2008)

展示面積	132,909m <sup>2</sup>
屋外展示レールの長さ	2.923m
出展者数	1,904社 (前回 1,603社)
出展国数	41カ国
トレードビジター	85,592人
屋外展示来場のパブリックビジター	25,000人

### 出展者数の増加と国際性の拡大

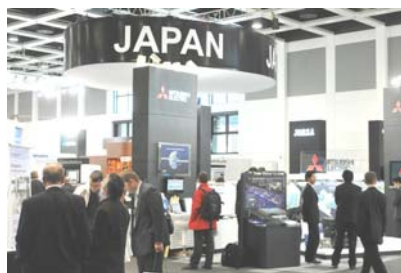
InnoTrans2008には、41カ国から1,904社が出展し、前回の1,603社から20%近くの増加となりました。展示ホールと屋外展示場あわせて13万m<sup>2</sup>以上に及び展示面積は、InnoTrans史上最大の規模となり、また3,000mの線路上だけでも91台の車両が展示されました。

2008年の出展者の半数以上は、ドイツ以外の国から出展し、オーストラリア、中東、東欧からの新規出展もありました。

## 日本のプレゼンス

InnoTrans 2008には、日本鉄道車両輸出組合 (JORSA) がとりまとめる日本ブースが前回の倍のスペースで出展し、下記14社が共同出展しました。(前回は共同出展者10社)

- 古河電工産業電線 (株)
- 三菱商事 (株)
- 三菱電機 (株)
- 三菱重工業 (株)
- 三井物産 (株)
- 三井物産プラントシステム (株)
- ナブテスコ (株)
- (株) 成田製作所
- 積水化学工業 (株)



- 双日 (株)
  - 住友金属工業 (株)
  - 東急車輛製造 (株)
  - 東洋電機製造 (株)
  - 安川コントロール (株)
- (アルファベット順)

さらに日本から以下の8社が独自出展しています。

- 株式会社 プリチストン
- 株式会社 日立ニコトランスミッション
- 株式会社 日立製作所
- 川崎重工業 (株)
- 株式会社 栗本鐵工所
- (財) 鉄道総合技術研究所
- 株式会社 テス
- 東洋ゴム工業 (株) (アルファベット順)

日本の出展者からも来場者数やその質の高さ、またビジネスコンタクトおよび成果について大変に満足であるとの声が寄せられています。



## ナショナル・パビリオン、各国鉄道事業者も出展

今年のInnoTransには各国の協会や業界団体がこれまでになく多く出展しました。会場ではナショナル・パビリオンとしての出展が15を数えました。また各国の鉄道事業者の出展が増加したことも大きな特長としてあげられます。ドイツ鉄道のみならず、ポーランド鉄道（PKP）、オーストリア連邦鉄道（ÖBB）、ロシア鉄道、スイス連邦鉄道（SBB）、フランス国鉄（SNCF）などの主要

鉄道事業者もまたInnoTransをマーケティングとコミュニケーションの手段として活用しています。初出展となったSNCFも大きな話題を呼びました。

### メディアの取材

InnoTrans2008には、29カ国から1,000人を超えるジャーナリストが取材に訪れました。



## 20億ユーロを超える受注額

InnoTrans2008開催中に、全体で20億ユーロ以上の受注があり、車両の引渡しも行われました。ドイツ鉄道は、ボンバルディア・トランスポート社からローカル線向けにTALENT 2車両を購入し、初の引き渡しを受けました。さらに320台が引き渡されることになっており、総額で12億ユーロとなります。シーメンス・モビリティ社は、ロシア鉄道に2億7600万ユーロで8台の高速車両を納

め、最初のVelaro RUSがInnoTransで披露されました。Voith社とドイツ鉄道は、130台のディーゼル機関車を2億5000万ユーロで納入する契約に署名しました。Oslo local transport companyは、シーメンス・モビリティ社から20台の地下鉄車両を購入し金額にして1億1000万ユーロになります。Stadler社はミュンヘン市に2900億ユーロでトラムを販売しました。Thales UK社からは、数百万ポンドの注文を受けたとの報告がありました。

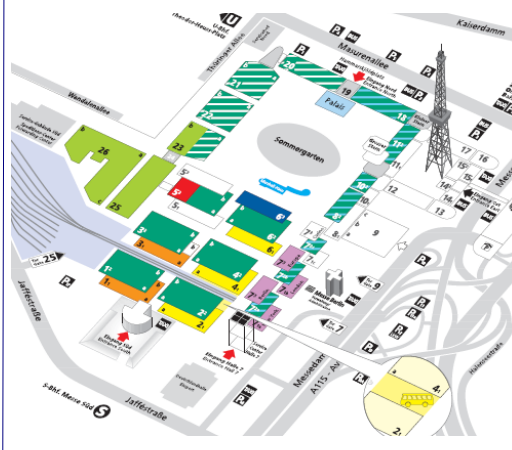


## InnoTrans会議

併催されたInnoTrans会議のハイライトはダイアログ・フォーラム、国際トンネル会議および欧州・アジア鉄道サミットでした。ダイアログ・フォーラムは、ドイツ交通フォーラム、ドイツ交通工業会（VDV）、欧州鉄道産業連盟（UNIFE）、ドイツ鉄道協会（VDB）が主催しました。国際トンネル会議は、STUVA（ドイツ地下輸送設備研究会）が後援し、国際的なゲストスピーカーを迎えた討論も行われました。ドイツ鉄道が提唱、企画した鉄道サミット（EARS）は、運輸大臣をはじめ、欧州とアジアの主要鉄道会社の幹部らと対話する貴重な機会を提供しました。



InnoTrans2008会場図：大幅に拡大した展示スペース



展示分野 鉄道技術 ・ インテリア ・ 公共交通  
インフラストラクチャ ・ トンネル建設

Save the date! InnoTrans 2010 2010年9月21日～9月24日

次回イノトランスへのご出展、ご来場をぜひご検討ください！

### お問い合わせ先

メッセ・ベルリン日本代表部  
〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4  
三番町KSビル 在日ドイツ商工会議所内  
Tel: 03-5276-8730 Fax: 03-5276-8735  
info@messe-berlin.jp